



四小だより

■よく考え学ぶ子 ■じょうぶでたくましい子 ■心の豊かな子

5月号

令和5年4月28日発行

新座市馬場3-6-1

048 (478) 3192

人とのコミュニケーションのために

校長 岡野 信幸

春を賑わせた桜の花も終わり、新緑の季節へと入ってきました。入学を迎えた1年生、そして1学年ずつ進級した2～6年生と、毎日落ち着いて授業をしています。今日も子どもたちの笑い声が聞こえています。

夏を記録するような汗ばむ日があれば、4月最終週などは寒い日が続く、体調を崩す児童も多くなりました。GWに突入するところではありますが、引き続き健康管理をしっかり行って元気に過ごせると良いと思います。

あいさつで始まる一日

毎朝さくら門に立って子どもたちを迎えていると、とても気持ちの良いあいさつ「おはようございます」が返ってきます。大きな声でなくとも、ハイタッチなどしなくとも、気持ちの通じたあいさつができています。毎朝子どもたちから大きなエネルギーをもらっているようにも感じられます。

先日、通りかかった地域の方から、「子どもたちが気持ちの良いあいさつをしていますね。」とお褒めのことばをいただきました。校長としてとてもうれしく思いました。気持ちの良いあいさつとは、大きな声でなくとも、気持ちが通じていることが大切です。

あいさつは表情から

気持ちの良いあいさつをする子どもたちが、この4月はとても多いと感じられます。なぜだろうとずっと考えていましたが、もしかしたらと思うことがありました。

それは、私がマスクを着けていないということです。マスクを着けていないから、自然と表情が相手に伝わり、良いあいさつに繋がっているものと思います。先日も校舎内を歩いていたら、高学年の子どもに「校長先生、何か楽しそうですね。」と声をかけられました。特に楽しいわけでもなかったのに、「どうして？」と聞き返すと、「顔

が笑っているように見えたから。」と言っていました。

このように、人の表情というのは人とのコミュニケーションをとるのにとても重要な役割を果たし

ているということに気がつきました。「目は口ほどにものを言う」ということばがありますが、表情そのものを豊かにし、人とのコミュニケーションを図ることによって、気持ちも伝わりやすくなると思います。

返事のトーンも重要

名前を呼ばれたり、仕事を頼まれたりした時の「はい」という返事は、その時の声の様子や大きさ、回数によって、「こころ」の様子がはっきりと人に伝わります。



「はい」という気持ちの良い返事であれば、今日も元気だな、仕事してくれそうだな、と安心できると思います。しかし、「はあ〜い」とか「はい、はい」のような返事はどうでしょうか。心配で仕事などを頼みたくなくなると思います。

返事もその仕方によって、人間関係やそのあとのお互いの気分を変えてしまう、重要なコミュニケーションであると言えます。

第四小の子どもたちも、私たち教員も保護者・地域の皆様も、相手を思いやりながら、あいさつをし、返事をし、引き続き人間関係を育んでいけたらと思っています。



下校時のマナー・地域での遊びについて

下校時の歩行の仕方と地域での遊び方については、毎年の課題となっています。学級で全担任が指導をするともに、全校放送による指導も行っていますが、実践が伴わないのが現実です。交通事故や地域でのトラブルが起きてからでは遅いので、子どもの自律を鑑みつつ、なぜそうしなければならないかを考えさせ、ご家庭でも声掛け、指導をお願いします。

- ・道路は端を歩く。
- ・交差点では一旦止まる。
- ・自転車は道路の左端をゆっくりと走る。
- ・車の来ない広い場所で遊ぶ。
- ・周囲の人のことを考えて遊ぶ。

